

【河川】河川協力団体と〔出水期後〕合同で堤防徒歩点検を行いました。

平成29年2月
福島河川国道

1. 経緯・概要

出水期後に、福島河川国道事務所が管理する阿武隈川等の堤防約130kmを職員により徒歩点検を実施。その中で、地域の実情・特性を把握している河川協力団体と合同で点検、住民目線での河川管理を実施。
＜河川協力団体 参加人数14人＞

2. 日時・実施状況

11月1日(火)：荒川(福島市)「NPO法人御倉町かいわいまちづくり協議会」



11月2日(水)：阿武隈川(郡山市)「日出山アメンボウクラブ」



11月4日(金)：荒川(福島市)「ふるさとの川・荒川づくり協議会」



3. 点検の結果

河川協力団体からの意見

- 歩いていて気づいた点を河川管理者と話せて良かった。
- 春、秋の合同点検を2年間やってきたが、今後も機会があれば参加したい。
- 私たちが聞いている日常河川敷を利用している人、散歩している人等の声を河川管理者に直接伝えることが出来て良かった。

〔参考〕河川協力団体制度とは

- 河川協力団体制度とは、自発的に河川の維持、河川環境の保全等に関する活動を行う団体を支援する制度。
- 河川管理者と連携して活動する団体として、自発的な活動を推進させ、河川管理のパートナーとして活動していただくことにより、地域の実情に応じた多岐にわたる河川管理の充実を図るものです。